

日本語のオノマトペ「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、 「キュツ」、「キュツキュツ」の記述的研究

杉村 泰

DOI: 10.18999/stul.32.25

1. はじめに

日本語には「ビリビリ」、「ジンジン」、「チクチク」のように痛みを表すオノマトペがたくさんある。しかし、日本語学習者はこれらのオノマトペの意味の違いを必ずしもよく理解しているわけではない。そこで杉村(2017)では、日本語教育のためのオノマトペ研究の一環として、「ヒリヒリ、ヒリッ、ヒリリ」、「ピリピリ、ピリッ、ピリリ」、「ビリビリ、ビリッ、ビリリ」の違いについて論じ、杉村(2018)では「チクチク」、「チクッ」、「チクリ」、「チクリチクリ」の違いについて論じた。これに引き続き、本稿では「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュツ」、「キュツキュツ」の違いについて論じる。

2. 先行研究

本稿で見る「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュツ」、「キュツキュツ」は、締め付けられるような痛みを表す点で共通している。これに関して小野(編)(2007)は次のように記述している¹。

小野(編)(2007:73-74)

きゅん **さま** 感動して胸が締めつけられるような気持ちになるさま。「その感覚は胸を**キュン**と締めつけるほど不気味なものだった」〈山のかなたに・石坂洋二郎〉

¹ 小野(編)(2007)には「きゅんきゅん」は載っていない。

きゅーん ① **音・さま** 飛行機や機械が高速で動いて発する軽快な音。また、そのさま。「飛行機がキューンと旋回した」② **さま** 感動して胸が締めつけられるような感じになるさま。「胸がキューンとなる場面」

きゅつ ① **音** ものを鋭く、摩擦させるときに出る計画な音。「靴をキュツと鳴らす」② **音・さま** 思わずのどの奥からこみあげてくる声。また、そのさま。くつ。「玄斎はきゅつと笑った。もう、唇も爪も船色にかわっているのに、ごろごろとのどのおくで笑ったのである」(江戸忍法帖・山田風太郎)③ **さま** 力を込めて一気にしぼりあげるさま。「唇をキュツと結ぶ」「キュツとくびれたウエスト」「胸がきゅつとこみ上げて来るやうに感じた」(俊寛・菊池寛)④ **さま** 酒などを、ひと息に軽やかに飲むさま。「焼酎をコップで一ぱいきゅつとやって」(三とせの者は過ぎやすし・杉浦明平)

きゅつきゅつ ① **音** ものが何度もきしんだり、こすれたりしてたてるかん高い音。「ゴム底靴がリノリュームの底にこすれるキュツキュツという軋音」(エオンタ・金井美恵子)② **声・さま** おさえようとしても思わずのどの奥から笑いがこみあげてくる声。また、そのさま。くつくつ。「ハンケチを口に当ててきゅつきゅつと噴き出してしまった」(或る女・有島武郎)③ **さま** 規則的に軽く力を加えるさま。「キュツキュツと靴をみがく」「親仁は桶のなかに琥珀色にをどんである飴をきゅつきゅつとひっぱりあげて」(銀の匙・中勘助)

小野(編)(2007)の記述を整理すると表1のようになる。

表1 小野(編)(2007)の記述の比較

	動作の回数	動作の程度	意味記述の有(○)無(×)				
			音	喉音	様態	精神	飲酒
キューン	—	—	×	×	×	○	×
キューン	—	—	○	×	×	○	×
キュツ	一回的	力を込める	○	○	○	○	○
キュツキュツ	複数的	軽く力を加える	○	○	○	×	×

表1のように、「キュツキュツ」のような反復表現は複数的動作(「何度も」、「規則的に」)を表し、「キュツ」のような非反復表現は一回的動作(「一気に」)を表す²。同様に「キューンキューン」は反復表現、「キューン」と「キューン」は一回的動作を表す。

² オノマトペの反復については、田守・スコウラップ(1999:30)でも「音や動作の繰り返さないしは連続を表す」と指摘されている。杉村(2018)の「チクチク」と「チクリチクリ」も同様である。

また、小野(編)(2007)は感動して胸が締めつけられる様を表すという精神的刺激の用法は挙げているが、心臓収縮などの肉体的刺激については挙げられていない。これは「キュッ」や「キュッキュッ」の③「さま」に含まれるとも考えられが、「腰がキュッとくびれている」のような様態を表す用法と「(空腹で)胃がキュッと締まる」のような肉態的刺激を表す用法は違いがあるため、本稿では分けて考えることにする。このように考えると、肉体的刺激から精神的刺激への派生を「チクチク」や「ピリピリ」など他の痛みのオノマトペと並行して考えることができる。しかし、小野(編)(2007)は辞書の体裁をとっていることもあり、各用法の使用頻度や痛みの部位などについては詳しく記述されていない。そこで本稿ではコーパス(BCCWJ)を利用して、「キュン」、「キュンキュン」³、「キューン」、「キュッ」、「キュッキュッ」の被修飾語(動詞など)と主体または対象⁴の違いを見ることにより、各形式間の相違や各形式内の多義構造を詳しく見ることにする。

3. 痛みの部位に関する意識調査

まず、日本語母語話者と学習者が「キュン」をどのように認識しているか見る。本研究では痛みを表す「ガンガン」、「キュンと」、「キリキリ」、「キンキン」、「シクシク」、「ジンジン」、「ズキズキ」、「ズーン」、「チクチク」、「ツーンと」、「ドーンと」、「ヒリヒリ」、「ビリビリ」、「ピリピリ」、「ミシミシ」の15語のオノマトペについて、次の被験者を対象に、以下のアンケート調査を行った。答えが分からない場合には想像で回答してもらった。その結果を表2に示す。

〔被験者〕

・日本語母語話者

名古屋大学学部生 61 名(2017 年6月 29 日、7月 11 日、名古屋大学で実施)

・中国語を母語とする上級日本語学習者(全員N1合格)

名古屋大学留学生 19 人(2017 年7月7日～17 日、名古屋大学で実施)

・中国語を母語とする初級日本語学習者(全員日本語学習歴8か月。この時点ではまだ授業ではこの 15 語のオノマトペを学習していない)

上海師範大学外国語学院日語系1年生 26 人(2017 年5月 15 日、上海師範大学で実施)

³ BCCWJ からは「キュンキュン」の例も出現したため、本稿では「キュンキュン」も考察対象に含めた。

⁴ 「胸がキュンとなる」なら主体、「顔をキュンと丸める」なら対象と考える。

[アンケート]

問 次の括弧の中に適当な身体部位を入れてください。また、それはどのような痛みだと思いますか(中国語で説明して構いません)⁵。

1. ()がガンガン痛む。()
 :
 15. ()がミシミシと痛む。()

表2 「キュンと」の痛みの部位に関する意識調査 (回答数と割合)

	日本人		上級中国人学習者		初級中国人学習者	
1	胸	48(78.7%)	胸	7(36.8%)	頭	6(23.1%)
2	心	6(9.8%)	心	5(26.3%)	心	5(19.2%)
3	心臓	3(4.9%)	心臓	2(10.5%)	目	4(15.4%)
4	歯	2(3.3%)	胃	2(10.5%)	手	2(7.7%)
5	胃	2(3.3%)	指	1(5.3%)	腹	2(7.7%)
6	合計	61(100%)	腹	1(5.3%)	胃	2(7.7%)
7	/		筋肉	1(5.3%)	足	2(7.7%)
8			合計	19(100%)	顔	1(3.8%)
9			/		耳	1(3.8%)
10					踝	1(3.8%)
11					合計	26(100%)

表2を見ると、日本人は「キュンと」といえば「胸」を連想する人が78.7%と最も多く、次いで「心」、「心臓」の順になっている。ただし、「胸」と答えた48人のうち36人が「寂しさ」、「切なさ」、「ときめき」、「恋・失恋」などの精神的な胸の痛みを挙げている。一方、上級学習者も「胸」、「心」、「心臓」が上位に来ており、日本人に近い選択をしている。この点で、杉村(2017)の「ヒリヒリ」、「ビリビリ」や杉村(2018)の「チクチク」が日本人とはかなり違う選択をしているのとは異なり、杉村(2017)の「ピリピリ」に似ている。しかし、初級学習者は「頭」、「心」、「目」の順で「胸」は出現していない。

また、「キュンと」で表される痛みについて、日本人は「恋」や「失恋」など恋に関する精神的な痛みを挙げた人が21人(34.4%)と最も多く、恋による精神的な痛みのイメージが強いことが分かる。また、「締め付けられるような痛み」、「心臓を握られるような痛み」、「縮む」、「詰まる」などを挙げた人も14人(23.0%)おり、当該部位の締め付けによる痛みを表すこと

⁵ 括弧内の注は中国人学習者にのみ付けた。

が分かる。しかし、学習者で「恋」に関することを書いた人は上級で1人(0.5%)、初級で0人(0%)しかいなかった。また、上級学習者は痛みの内容について「収縮」、「締められる」、「掴まれる」などの説明をしている人が7人(36.8%)いたが、初級学習者で同様の答えをした人は0人(0%)であった。一方、刺すような痛みと答えた人が上級学習者で4人(21.1%)、初級学習者で3人(11.5%)いた(日本人にはいなかった)。このことから、上級学習者では「キュンと」の痛みの内容を理解している人が4割ほどいるが、初級で音から「キュンと」の意味を連想するのは難しいことが分かる。

以下、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス(通常版)」(BCCWJ)⁶の「中納言」を利用して、各オノマトペの被修飾語と主体または対象の違いについて見る。検索においては全資料を次のように短単位検索して、手作業でごみを取り除いた。

・キー 語形が[キュン] (or キュンキュン/キューン/キュッ/キュッキュッ)

4. 「キュン(と)」⁷

4.1 「キュン(と)」の被修飾語

まず「キュン」の被修飾語について見る。BCCWJの検索結果を表3に示す。「キュン」は「胸がキュン！」のようにそれ自体が述語になる場合を除けば、全て後に「と」を付けて使われている。表3を見ると、「キュン」は76例中「キュンとする」の形で使う場合が18例(23.7%)、「キュンとなる」が17例(22.4%)、「キュンとくる」が12例(15.8%)で、一般の動詞に付く場合より割合が高い⁸。しかし、「だ」には付かない。このことから、「キュッ」は吉永(2016)のAタイプに属することが分かる。また、「キュンと」の被修飾語には「痛くなる」や「疼く」のように痛みを表す語や、「締め付ける」、「伸ばす」、「丸める」のように筋肉を硬直させる動きを表す語が来ている。さらに「鳴く」のように音声を表す語も1例(1.3%)出現している。

⁶ 検索対象語数:124,100,964語、空白・記号・補助記号を除いた検索対象語数:104,911,460語。

⁷ 本稿では「と」の有無による意味の違いについては、踏み込んで議論しないことにする。これについては、秋田(2013, 2016)で論じられている。

⁸ 吉永(2016:21)はオノマトペを「だ」や「する」との接続の仕方の違いからA～Dの4つのタイプに分けている。〈Aタイプ〉は主に「する」が付加されるもの(「ちくちく(*だ/する)」など)、〈Bタイプ〉は主に「だ」が付加されるもの(「くたくた(だ/*する)」など)、〈Cタイプ〉は「する」と「だ」が両方付加できるもの(「ふらふら(する/だ)」など)、〈Dタイプ〉は特定の動詞と結びつき、「する」や「だ」が付加できないもの(「ぐっすり(眠る/*する/*だ)」など)である。

表3 「キュン(と)」の被修飾語 (出現数)

ーする	18	収縮する	1	鳴く	1
ーなる	17	感じる	1	ー死(に)	5
ーくる	12	思う	1	ーφ(動詞) ⁹	12
痛くなる	2	伸ばす	1		
締め付ける	2	丸める	1		
疼く	1	突き出す	1	合計	76

これらの用例を見ると、「キュン」は全て主体や対象が瞬間的に締め付けられるような状態を表していることが分かる。そこから派生して「動作の様態」(胸をキュンと突き出す)、「肉体的刺激」(胃がキュンと痛くなる)、「精神的刺激」(胸がキュンとなる)、「擬音語」(犬がキュンと鳴く)という意味を表すようになると考えられる。

4.2 「キュン(と)」の主体・対象

次に「キュン」の主体または対象について見る。BCCWJ の検索結果を表4に示す。「キュン」は精神的刺激を表す用法が 67 例(88.2%)と最も多く、次いで肉体的刺激が 5 例(6.6%)、動作の様態が 3 例(3.9%)、擬音語が 1 例(1.3%)となっている。「キュン」が精神的刺激を表す場合によく使われることは、3節で論じた「キュンと」の痛みの部位に関する日本人の意識調査の結果とも符合している。

表4 「キュン(と)」の主体・対象 (出現数)

肉体的刺激(5)		精神的刺激(67)		動作の様態(3)	
鼻先	1	胸	30	顔(丸める)	1
胃	1	φ	37	胸(突き出す)	1
指	1	擬音語(1)		背筋(伸ばす)	1
アソコの中	1	φ	1		
筋肉	1			合計	76

「キュン」が肉体的刺激を表す場合は、「胃」などの部位が現れ、その締め付けや収縮などによる瞬間的な痛みを表す。一方、「キュン」が精神的刺激を表す場合、痛みの部位は「胸」に限定されている¹⁰。この場合、精神的刺激が実際に胸の痛みを引き起こすこともあり、

⁹ 「ーφ(動詞)」は「胸がキュン！」のようにオノマトペ単独で動詞用法となっているもの、後述の「ーφ(名詞)」は「ボン・キュッ・ボン」のようにオノマトペ単独で名詞用法となっているもの、「ーφ(音声)」は「(犬の鳴き声)キューン。」のようにオノマトペ単独で終わり、「と鳴く」などの述語が付かないものを指す。以下同様。

¹⁰ 「φ」の場合も「胸」であることが読み取れる。この点で「ガーン」が「ショックで頭がガーンとする」の「ガーン」

精神的刺激と肉体的刺激は連続的につながっている。また、動作の様態は「顔をキュッと丸める」、「胸をキュッと突き出す」、「背筋をキュッと伸ばす」の3例が出現し、いずれも当該部位の筋肉の硬直した様子を表している¹¹。さらに、擬音語は「犬がキュンと鳴く」の1例が出現し、喉の奥から込み上げてくる鳴き声を表している。これも喉を締め上げて出る声である点で、他の「キュン」と共通している。

ところで、肉体的刺激や精神的刺激を表す場合、杉村(2018)の「チクチク」が例(1)のように能動的動作にも受動的動作にも使われるのに対し、「キュン」は例(2)のように受動的動作にしか使えない。しかし、7節で見る「キュッ」は例(3)のように能動的動作にも受動的動作にも使われる¹²。この点で、「キュン」と「キュッ」には統語的な違いがある。

- (1)a. 誰かが首筋を針でチクチク{する/刺す}。(能動)
 b. 首筋に毛が刺さって(嫌味を言われて心が)チクチク{する/痛む}。(受動)
- (2)a. *誰かが私の胸をキュンと{する/締め付ける}。(能動)
 b. 不整脈で(感動で)胸がキュンと{する/締め付けられる}。(受動)
- (3)a. 誰かが私の胸をキュッと{*する/締め付ける}。(能動)
 b. 不整脈で(感動で)胸がキュッと{する/締め付けられる}。(受動)

最後に「キュン」の用例を例(4)～例(7)に示す。

- (4) (肉体的刺激) 胃のあたりがきゅん、といたくなり、ぼくはその場にうずくまる。(牧野節子『とうさんはコケッコかんとく』)
- (5) (精神的刺激) 懐かしさとせつなさで胸がきゅんとなる。(六道慧『風恋記』)
- (6) (動作の様態) 胸なんか、キュンとつきだしちゃってさ、若い子気取りだからねえ。(加賀乙彦『小暗い森』)
- (7) (擬音語) クンともキュンとも鳴かずに、いくらかムツとしたような退屈顔。(山喜多佐知子『愛犬の友』)

等とは異なる。

¹¹ 「肉体的刺激」と「動作の様態」は区別が難しい場合もあるが、文脈を見て痛みの意味が強い場合には「肉体的刺激」、弱い場合には「動作の様態」とした。「キュッ」以外の形式も同様である。

¹² ただし、「キュッとする」は受動的動作にしか使われない。

なお、例(8)、例(9)のように、「キュン」には「キュン死」、「キュン速」、「キュンどき」などの名詞修飾用法もある。「キュン死」(5例)は全てYahoo!ブログの用例で、感動して心臓がキュンとなって死ぬという意味である。また、「キュン速」、「キュンどき」は誰かに恋して胸がキュンとなる時の瞬間的な速さ¹³やドキドキ感を巧みに表した表現で、図1のポスターに見られた2017年の新語である。

(8) あの笑顔にわキュン死。(Yahoo!ブログ)

(9) あっ、イマこの瞬間とどけ ♥

キュン速キャンパスライフ

あなたの大切なキュンどきも逃さない、
ストレスフリーな

ドコモのLTEがより快適に！

(NTTドコモのポスター(2017年))



図1 NTTドコモのポスター(2017年)

5. 「キュンキュン(と/に)」

5.1 「キュンキュン(と/に)」の被修飾語

次に「キュンキュン」の被修飾語について見る。BCCWJの検索結果を表5に示す。「キュンキュン」は「キュン」とは逆に「と」が付かない例がほとんどで、「と」が付く例は26例中1例(3.8%)しかなかった。一方、「キュンキュンになる」という「に」が付く例が1例あった¹⁴。表5を見ると、「キュンキュン」は26例中「キュンキュンする」の形で使う場合が14例(53.8%)で過半数を占め、「キュンキュンになる」は1例(3.8%)、「キュンキュンくる」は2例(7.7%)となっている。このことから、「キュン」は吉永(2016)のAタイプに属することが分かる。また、「キュン」と違って痛みや筋肉の硬直を表す語は来ておらず、「言う」、「騒ぐ」、「鳴く」など音声を表す語が4例(15.4%)出現している。

¹³ 3節の痛みの部位に関する意識調査で、「キュン」を「急・突如な痛み」と説明した人が日本人は0人(0%)であったが、上級学習者では11人(57.9%)、初級学習者では2人(7.7%)いた。このことから、上級学習者は「キュン」の持つ即時的なニュアンスをよく捉えている人が多いことが分かる。日本人の場合は「キュン」の持つ即時的なニュアンスは捉えているものの、それよりも精神的な痛みであることを優先して回答したものとされる。

¹⁴ 「胸が きゅん☆きゅんに なってきちゃいましたです。」(Yahoo!ブログ)

表5 「キュンキュン(と/に)」の被修飾語 (出現数)

ーする	14	言う	1	ーポイント	1
ーなる	1	騒ぐ	1	ーφ(音声)	1
ーくる	2	鳴く	1	ーφ(動詞)	2
盛り上がる	1	という声	1	合計	26

これらの用例を見ると、「キュンキュン」は全て主体や対象が連続的に締め付けられるような状態を表していることが分かる。そこから派生して「肉体的刺激」(胃がキュンキュンしてくる)、「精神的刺激」(胸がキュンキュンする)、「擬音語」(犬がキュンキュン鳴く)という意味を表すようになると考えられる。

5.2 「キュンキュン(と/に)」の主体・対象

次に「キュンキュン」の主体または対象について見る。BCCWJ の検索結果を表6に示す。「キュンキュン」は精神的刺激を表す用法が20例(76.9%)と最も多く、次いで肉体的刺激が1例(3.8%)、擬音語が5例(19.2%)となっている。「キュンキュン」が精神的刺激を表す場合によく使われることは、「キュン」と共通している。

表6 「キュンキュン(と)」の主体・対象 (出現数)

肉体的刺激(1)		精神的刺激(20)		擬音語(5)	
胃	1	胸	5	犬、トイプードル	2
		φ	15	(エンジンの)セル	1
				φ	2
				合計	26

「キュンキュン」が肉体的刺激を表す場合、BCCWJからは「胃」の例しか現れなかったが、心臓にも使えると思われる。「キュン」も「キュンキュン」も当該部位の締め付けや収縮などによる痛みを表す点では同じであるが、「キュン」が一回的であるのに対し、「キュンキュン」は連続的である点で違いがある。一方、「キュン」が精神的刺激を表す場合、痛みの部位は「胸」に限定されている¹⁵。この場合も「キュン」が一回的であるのに対し、「キュンキュン」は連続的である点で違いがある。また、精神的刺激と肉体的刺激は連続的につながっている点は「キュン」も「キュンキュン」も同じである。さらに、擬音語は5例のうち「φ」を含めて犬の

¹⁵ 「φ」の場合も「胸」であることが読み取れる。

鳴き声が4例で、「(エンジンの)セルがキュンキュン言う」の例が1例であった。

ところで、肉体的刺激や精神的刺激を表す場合、例(10)(11)に示すように、「キュンキュン」も「キュン」と同じように受動的動作にしか使えない。この点で7節の「キュッ」が能動的動作にも受動的動作にも使えるのとは異なっている。

(10)a. *誰かが私の胸をキュンと{する/締め付ける}。(能動) ((2a)の再掲)

b. 不整脈で(感動で)胸がキュンと{する/締め付けられる}。(受動) ((2b)の再掲)

(11)a. *誰かが私の胸をキュンキュン{する/締め付ける}。(能動)

b. 不整脈で(感動で)胸がキュンキュン{する/締め付けられる}。(受動)

最後に「キュンキュン」の用例を例(12)～例(14)に示す。

(12) (肉体的刺激) 未消化のものを溜めておくのはそのうち胃が痛くなります(><;) きゅんきゅんしてきました。(Yahoo!ブログ)

(13) (精神的刺激) 少女漫画のキスシーンとかきゅんきゅんするでしょ?(Yahoo!ブログ)

(14) (擬音語) 鳴き声は、前の犬と違って、さほど大きくはないが、キュンキュンとかん高い声で鳴きつづける。(安岡章太郎『愛犬物語』)

6. 「キューン(と)」

6.1 「キューン(と)」の被修飾語

次に「キューン」の被修飾語について見る。BCCWJ の検索結果を表7に示す。「キューン」は「へその下キューン!」のようにそれ自体が述語になる場合を除けば、全て後に「と」を付けて使われている。表7を見ると、「キューン」は 16 例中「キューンとする」の形で使う場合が4例(25.0%)、「キューンとなる」が3例(18.8%)、「キューンとくる」が2例(12.5%)となっている。このことから、「キューン」は吉永(2016)のAタイプに属することが分かる。また、「キュン」と同様に、「痛くなる」のように痛みを表す語や、「締め付ける」のように筋肉の硬直を表す語も来ている。さらに、「鳴く」など音声を表す語が2例(12.5%)出現している。

表7 「キューン(と)」の被修飾語 (出現数)

—する	4	鳴く	1	痛くなる	1
—なる	3	という鋭い音	1	—φ(音声)	1
—くる	2	という	1	—φ(動詞)	1
		締めつける	1	合計	16

これらの用例を見ると、「キューン」は全て主体や対象が「キュン」よりも長い時間締め付けられるような状態を表していることが分かる。そこから派生して「肉体的刺激」(鼻の奥がキューンとなる)、「精神的刺激」(胸をキューンと締め付けられる)、「擬音語」(犬がキューンと鳴く)という意味を表すようになると考えられる。

6.2 「キューン(と)」の主体・対象

次に「キューン」の主体または対象について見る。BCCWJの検索結果を表8に示す。「キューン」は精神的刺激を表す用法が10例(62.5%)と最も多く、次いで肉体的刺激が2例(12.5%)、擬音語が4例(15.0%)となっている。「キューン」が精神的刺激を表す場合によく使われることは、「キュン」や「キュンキュン」と共通している。

表8 「キューン(と/に)」の主体・対象 (出現数)

肉体的刺激(2)		精神的刺激(10)		擬音語(4)	
鼻の奥	1	胸	5	イブ(犬の名前)	2
へその下	1	φ	5	焼夷弾	1
				φ	1
				合計	16

「キュン」も「キューン」も当該部位の締め付けや収縮などによる痛みを表す点では同じであるが、「キュン」が一時的で瞬間的であるのに対し、「キューン」は一時的で少し持続的である点で違いがある。また、BCCWJから出現したのは「十四歳の時の自分が蘇って鼻の奥がキューンとなった」と「焼酎を飲んでへその下がキューン」の2例で、これらの例は肉体的な刺激だけでなく精神的な感慨も含まれていると思われる。一方、「キューン」が精神的刺激を表す場合、痛みの部位は「胸」に限定されている¹⁶。この場合も「キュン」が一時的で瞬間的であるのに対し、「キューン」は一時的で少し持続的であるという違いがある。また、精神的刺激と肉体的刺激は連続的につながっている点は「キューン」も「キュン」や「キュンキ

¹⁶ 「φ」の場合も「胸」であることが読み取れる。

ュン」と同じである。さらに、擬音語は4例のうち犬の鳴き声が2例、焼夷弾の音が1例、不明が1例であった。

ところで、肉体的刺激や精神的刺激を表す場合、例(15)に示すように、「キューン」も「キュン」や「キュンキュン」と同じように受動的動作にしか使えない。この点で7節の「キュッ」が能動的動作にも受動的動作にも使えるのとは異なっている。

(15)a. *誰かが私の胸をキューンと{する/締め付ける}。(能動)

b. 酒を飲んで(感動で)胸がキューンと{する/締め付けられる}。(受動)

最後に「キューン」の用例を例(16)～例(18)に示す。

(16) (肉体的刺激) 母ちゃんが、焼酎をちびりとのんだ。あの、へその下キューン、母ちゃんにはわかんないよな。(辻邦『父ちゃんはナンバーワン!』)

(17) (精神的刺激) 異性のちょっとした仕草で、キューンと来ることってない?(Yahoo!ブログ)

(18) (擬音語) 又、キューンというの。焼夷弾よ、(宮本 百合子『獄中の夫へ』)

7. 「キュッ(と)」

7.1 「キュッ(と)」の被修飾語

次に「キュッ」の被修飾語について見る。BCCWJ の検索結果を表9に示す。「キュッ」は豊かなバストとヒップにくびれたウエストを表す「ボン・キュッ・ボン」や「お尻がキュッ!」のようにそれ自体が述語になる場合を除いて、全て後に「と」を付けて使われている。表9を見ると、「キュッ」は 253 例中「キュッとする」の形で使う場合が5例(2.0%)、「キュッとなる」が2例(0.8%)しかなく、「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」に比べて一般の動詞に修飾する割合が高い。ただし、「キュッ」も「する」に付くことができるため吉永(2016)のAタイプに属することが分かる。また、「キュッ」との被修飾語には「締める」、「締まる」、「(お尻が)上がる」、「結ぶ」など何かを絞り上げることを表す語が多く来ている。これが文脈によって、「みぞおちがキュッと押し付けられて苦しい」のように肉体的な痛みを表す用法へとつながっていると考えられる。その他、「(酒を)呷る」のような飲酒などの音や様態を表す語や、「鳴る」のよ

うな音声を表す語も少数出現している。

表9 「キュツ(と)」の被修飾語 (出現数)

一する	5	握り潰す	1	鋭くする	1
一なる	2	閉める	1	まとめる	3
縮まる	20	閉まる	1	ハリがある	1
縮める	9	閉じる	3	凹む	1
締め付ける	8	縛る	1	詰まる	1
締め込む	1	挟む	1	すくむ	1
引き締める	12	挟み取る	1	止まる	1
引き締まる	8	力を入れる	2	突き出す	1
抱き締める	4	力が入る	1	しこり立つ	1
握り締める	2	力がこもる	1	(体力が)落ちる	1
嘸み締める	1	曲げる	2	苦しくなる	1
踏み締める	1	曲がる	4	吸う	1
嘸み締める	1	歪める	1	集める	2
引き上げる	1	痩せる	1	嘸む	6
引き絞る	1	くびれる	4	眉を寄せる	4
引き結ぶ	1	せり上がる	1	眉が寄る	1
取り上げる	1	体型を戻す	1	ひそめる	1
持ち上げる	1	細める	1	目をつぶる	1
上がる	12	細くなる	4	見る	1
上げる	2	詰まる	1	振り返る	1
吊り上げる	3	丸くなる	1	小さめ	1
吊り上がる	1	丈を短くする	1	スリムエプロン	1
絡み付く	1	収縮する	2	やる	3
圧を加える	1	攣れる	1	酒をひっかける	1
結ぶ	10	ねじる	1	酒を呷る	4
掴む	8	つねる	1	一杯	1
絞る	7	つまむ	5	一φ(酒を飲む音)	1
搾る	2	ひねる	3	鳴る	1
一絞りする	1	ひねり上げる	1	音がする	1
窄める	2	押し付ける	1	音を立てる	3
窄まる	2	摘まむ	1	軋んだ音を出す	1
窄む	1	留める	1	一φ(名)	7
縮める	5	くるむ	1	一φ(動)	1
縮まる	2	かぶせる	1		
握る	2	(指を)動かす	1	合計	253

これらの用例を見ると、「キュッ」は全て主体や対象が瞬間的に締め付けられるような状態を表していることが分かる。この点で「キュン」に似ているが、「キュン」が基本的に身体的圧迫(引いては精神的圧迫)を表すのに対し、「キュッ」は身体に限らず様々な物を一気に絞り上げるようにしたり、特定の動作(「カーブをキュッと曲がる」など)を一気に行ったりすることを表す点で違いがある。このように「キュッ」は「動作の様態を表す」用法が第一にあり、そこから派生して「肉体的刺激」(胃がキュッと締まる)、「精神的刺激」(胸がキュッと苦しくなる)、「擬音語」(犬がキュンと鳴く)という意味を表すようになると考えられる。

7.2 「キュッ(と)」の主体・対象

次に「キュッ」の主体または対象について見る。BCCWJの検索結果を表10に示す。「キュッ」は動作の様態を表す用法が191例(75.5%)と最も多く、次いで肉体的刺激が35例(13.8%)、精神的刺激を表す用法が11例(4.3%)、「飲酒などの音・様態」が9例(3.6%)、擬音語が7例(2.8%)となっている。この点で、精神的刺激の用例が多い「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」とは大きな違いがある。

「キュッ」は身体に限らず様々な物を一気に絞り上げるようにしたり、特定の動作を一気に行ったりする際の「動作の様態」を表す表現である。このうち、本稿では文脈的に痛みの意味が強い場合を特に「肉体的刺激」として区別した。そのため、「キュッ」の「肉体的刺激」の用法は「動作の様態」の用法の一部である。BCCWJの用例を見ると、「動作の様態」を表す場合は「お尻がキュッとしている」のように引き締まった身体部位の美しさを表すことが多く、「肉体的刺激」を表す場合は「胃がキュッとすぼまる」のように身体部位の収縮による痛みを表すことが多い。一方、精神的刺激を表す場合、痛みの部位は「胸」(「心」や「ハート」を含む)に限定されている。「キュッ」も「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」と同様に肉体的刺激と精神的刺激が連続的につながっている点も共通している。さらに、擬音語は7例とも「革製品」、「雪」、「水道の蛇口」などが擦れる時の摩擦音を表し、「飲酒などの音・様態」は「酒」などを飲むときの喉越しの音や様態を表している。

表10 「キュッ(と)」の主体・対象 (出現数)

動作の様態(191)			肉体的刺激(35)		
頭	2	毛穴	1	口	1
髪(の毛)	3	毛	1	マズル(鼻っ柱)	1
顔	5	体力	1	喉	2
表情	1	ナイスボディ(一)	2	心臓	1
目	4	体型	1	胃	3
瞳	2	D十二棘側面側	1	乳首	2
目つき	1	腕、デコルテ、太腿、ウエスト、ヒップなど	1	胸の突起(物)	2
眉	7			みぞおち	1
口	8	帯	2	肘	1
唇	19	紐	1	指	1
口角	1	結び目	1	ウエスト	1
口元	1	袋	2	腰	2
頬	3	エプロン	1	臍口	1
首	3	手綱	1	(肉)壁	2
体	3	帽子	1	肉洞	1
身	1	鼻緒	1	内壁	1
胴	1	輪罌	1	秘孔・秘口	2
腹	2	茶巾絞り	1	そこ・あそこ(陰唇)	2
背中	1	ナプキン	1	陰唇のサネ	1
バスト	1	濡れ雑巾	1	淫芽	1
胸の先端	1	濡れ布巾	1	内腿	1
ウエスト	8	袖	1	男性器	1
腰	1	裾	2	(俺の)根元	1
腰位置	1	竹の皮	1	大きくなっているモノ	1
骨盤	2	ラップ	1	身体	1
お尻	11	紙	1	φ	1
肛門	7	(レザーの)甲部分	1	精神的刺激(11)	
お尻の穴	1	羊革	1	胸	9
ヒップ	1	(蜜壺の)入口	1	心	1
ヒップライン	1	(薔薇の)丈	1	ハート	1
胃	2	もぐさ	1	飲酒などの音・様態(9)	
肩	1	花	3	酒	6
肘	1	ガーベラ	1	コーク(コーラ)	1
手	5	麺	1	φ	2
手足	1	酢橘	1	擬音語(7)	
指	2	レモン	1	革製ロンググローブ	1
太股	1	キャベツ	1	レザー・ジャケット	1
ふくらばぎ	1	油揚げ	1	レザーの股布	1
あと足	1	二匹の熊	2	雪	1

足首	1	子猫	1	水道	1
足首やアキレス腱	1	(将棋の)駒	1	φ	2
つま先	1	車体	1	\	
下半身	1	弾の先端	1		
筋肉	1	カーブ	1		
全身の細胞	1	トンネル	1		
肌	2	ピクセルとピクセルの間	1		
肌のたるみ	1	美味しさや栄養	1		
顎のたるみ	1	?	10		

ところで、肉体的刺激や精神的刺激を表す場合、「キュン」は受動的動作にしか使えないのに対し、「キュッ」は能動的動作にも受動的動作にも使われる¹⁷。この点で、「キュン」と「キュッ」には統語的な違いがある。これを例(19)、(20)に示す。

- (19)a. *誰かが私の胸をキュンと{する/締め付ける}。(能動) ((2a)の再掲)
 b. 不整脈で(感動で)胸がキュンと{する/締め付けられる}。(受動) ((2b)の再掲)
- (20)a. 誰かが私の胸をキュッと{*する/締め付ける}。(能動) ((3a)の再掲)
 b. 不整脈で(感動で)胸がキュッと{する/締め付けられる}。(受動) ((3b)の再掲)

最後に「キュッ」の用例を例(21)～例(25)に示す。

- (21) (動作の様態) あごのたるみがキュッとひきしまります。(宝田恭子『くちびる美人ダイエツ』)
- (22) (肉体的刺激) みぞおちがきゅつと押しつけられて苦しい…(李恢成『群像』)
- (23) (精神的刺激) 女の子のハートをキュッとつかんでしまうモチーフ・ペンダント。(青木ユリ『non・no(ノンノ)』2002年4月20日号)
- (24) (擬音語) 柔らかい雪をキュッと踏みしめて歩くときの感覚は、(森光『バックカントリー・スノーボード』)
- (25) (飲酒などの音・様態) こんなきは、酒を一合、きゅつとひっかけるってのは妙薬なんだぜ。(宮本輝『睡蓮の長いまどろみ』)

¹⁷ ただし、「キュッとする」は受動的動作にしか使われない。

8. 「キュッキュッ(と)」

8.1 「キュッキュッ(と)」の被修飾語

次に「キュッキュッ」の被修飾語について見る。BCCWJ の検索結果を表 11 に示す。「キュッキュッ」は「キュッ」を2回繰り返したもので、「キュッ」と同様にそれ自体が述語になる場合を除いて、全て後に「と」を付けて使われている。表 11 を見ると、「キュッキュッ」は「キュッキュッとする」の形で使われる例は無く、「[?]お尻がキュッキュッとしている」、「[?]胸がキュッキュッとする」は、「キュッ」に比べて言いにくいように思われる。このことから、「キュッキュッ」は吉永(2016)のDタイプに属すると考えられる。

「キュッキュッと」の被修飾語には「音を立てる」など音に関する語が7例と、「締め付ける」など肉体的締め付けを表す語が3例出現している。

表 11 「キュッキュッ(と)」の被修飾語 (出現数)

音を立てる	1	締め付ける	1
ーいう音	3	締め上げる	1
鳴くような音	1	擦る	1
ーφ(音声)	2	合計	10

これらの用例を見ると、「キュッキュッ」は全て主体や対象が複数回締め付けられる状態を表していることが分かる。この点で「キュッキュッ」は「キュンキュン」に似ているが、「キュンキュン」が2つの「キュン」の間をおかずに連続的な締め付けを表すのに対し、「キュッキュッ」は2つの「キュッ」の間に間があり、断続的な締め付けを表す点で違いがある¹⁸。実際、「キュッキュッ」では例(26)のように2つの「キュッ」の間が「、」や「！」で区切られている例が全10例中8例(80%)出現したのに対し、「キュッキュッ」ではそのような例は出現しなかった¹⁹。

(26) 雪がカタクリ粉みたいにキュッ、キュッて音をたてて、(南こうせつ・立松和平『風と話

¹⁸ 「キュッキュッ」の2つの間に多少なりとも間があることは、「キュッキュッ」と比べると分かる。本稿では「キュッキュッ」は考察の対象にしなかったが、BCCWJからは次の1例が出現する。この場合、モップは止めずに連続的に床を擦っている。

(i) 酢水のスプレーを持ってシュッと吹きかけ、もう一方の手で持ったフロアモップでキュッキュッとすれば、カンタンにふきそうじが完了です。(佐光紀子『重曹・酢・石けんでナチュラルおそうじ一家じゅうキレイ!』)

¹⁹ 「キュンキュン」には次のように「☆」で区切られているものが3例あった。しかし、この「☆」は「キュンキュン」で表される胸の高鳴りを強調するもので、音声的な休止(ポーズ)を表すものではない。

(i) 胸が きゅん☆きゅんに なってきちゃいましたです。

そう』)

このように「キュッキュッ」は主体や対象が複数回断続的に締め付けられる状態を表す。そこからそのような締め付けによる痛みを表す「肉体的刺激」の用法や、そのような締め付けに伴う軋み音を表す「擬音語」の用法が派生していると考えられる。

8.2 「キュッキュッ(と)」の主体・対象

次に「キュッキュッ」の主体または対象について見る。BCCWJ の検索結果を表 12 に示す。「キュッキュッ」は擬音語が 7 例(70.0%)と最も多く、次いで肉体的刺激が 3 例(30.0%)で、精神的刺激の例は出現しなかった。「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュッ」が精神的刺激を表すのに対し、「キュッキュッ」は精神的刺激を表しにくい点で特徴がある。

表 12 「キュッキュッ(と)」の主体・対象 (出現数)

肉体的刺激(3)		擬音語(7)			
肉茎	1	ゴムの靴	1	愛車(ワックスで磨く)	1
茎胴	1	雪	1	φ	3
φ	1	鳴き砂	1	合計	10

「キュッキュッ」が肉体的刺激を表す場合、BCCWJからは「肉茎」、「茎胴」が現れ²⁰、その締め付けによる断続的な圧迫を表している。ただし、実際には「胸」などにも使えると思われる。一方、擬音語は「ゴムの靴」、「雪」、「鳴き砂」、「(ワックスを塗った)愛車」などの例が出現し、その軋み音や摩擦音を表している。

ところで、肉体的刺激を表す場合、「キュッキュッ」は「キュッ」と同様に能動的動作にも受動的動作にも使われる²¹。これを例(27)、(28)に示す。

(27)a. 誰かが私の胸をキュッと{*する/締め付ける}。(能動) ((3a)の再掲)

b. 不整脈で胸がキュッと{*する/締め付けられる}。(受動)

(28)a. 誰かが私の胸をキュッキュッと{*する/締め付ける}。(能動)

b. 不整脈で胸がキュッキュッと{*する/締め付けられる}。(受動)

²⁰ 「φ」の1例も文脈から見て「陰茎」の例であると思われる。

²¹ ただし、「キュッとする」や「キュッキュッとする」は受動的動作にしか使われない。

最後に「キュツキュツ」の用例を例(29)、(30)に示す。

- (29) (擬音語) 鳴き砂は、砂の上を歩くと“キュツ！ キュツ！”と鳴くような音がする砂のことをいいます。(佐藤慎司・岸田弘之『海辺に親しむ』)
- (30) (肉体的刺激) 美妃は、乳首を刺激されたとたんに、ただ窮屈だけでなく、きゅっ、きゅっと肉茎を締めつけてくるようになった、(横溝美晶『女教師密かな愉しみ』)

9. まとめ

最後に、本稿で論じた「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュツ」、「キュツキュツ」の特徴を表 13 に整理しておく。これらの語はいずれも「締め付けられるような様態を表す」という点で共通しながら、動作の回数、「ーと」の付加の有無、「ーする」の形の場合の意味の違い、用法の違いなどに違いがある。

これらの違いについては、これまであまり詳しく論じられることはなかったが、日本語教育の立場からは詳細に違いを記述しておく必要がある。今後はさらにこれらの語の意味関係を分析するとともに、他のオノマトペとの関係も明らかにしていきたい。

表 13 「キュン」、「キュンキュン」、「キューン」、「キュツ」、「キュツキュツ」の特徴

	タイプ	動作の回数	「ーと」	「ーする」の可否				用法の有無					
				肉体		精神		様態	肉体	精神	擬音語	飲酒	
				能動	受動	能動	受動						
キュン	A	一回的・瞬間的	必須	*	○	*	○	○	○	○	○	○	×
キュンキュン	A	複数的・連続的	不可	*	○	*	○	×	○	○	○	○	×
キューン	A	一回的・持続的	必須	*	○	*	○	×	○	○	○	○	×
キュツ	A	一回的・瞬間的	必須	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キュツキュツ	D	複数的・断続的	必須	○	○	*	*	×	○	×	○	○	×

(注) ○は可または有、*は否、×は無を表す。

付記: 本稿は平成 28-32 年度科学研究費基金(基盤研究(C))「中国人日本語学習者におけるポートフォリオ型学習データベースの構築と文法習得の研究」(研究代表者:杉村泰、課題番号 16K02809)による研究成果の一部である。

[参考文献]

- 秋田喜美(2013)「共起特性から見るオノマトペのフレーム意味論」『オノマトペ研究の射程—近づく音と意味—』, 101-115
- 秋田喜美(2016)「言語体系の中のオノマトペ」『レキシコンフォーラム』No.7, 19-39
- 小野正弘(編)(2007)『擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトペ辞典』小学館
- 杉村泰(2017)「日本語のオノマトペ「ヒリヒリ、ヒリッ、ヒリリ」、「ビリビリ、ビリッ、ビリリ」、「ピリピリ、ピリッ、ピリリ」の記述的研究」『ことばの科学』第 31 号, 名古屋大学言語文化研究会, 111-130
- 杉村泰(2018)「日本語のオノマトペ「チクチク」、「チクッ」、「チクリ」、「チクリチクリ」の記述的研究」『ことばの科学』第 32 号, 名古屋大学言語文化研究会, 5-23
- 田守育啓・ローレンス・スコウラップ(1999)『オノマトペ—形態と意味—』くろしお出版
- 吉永尚(2016)「心身の状況を表す擬態語動詞についての素性分析」『園田学園女子大学論文集』50, 21-28